

地質標本館 2018年度特別展

GSJの

ヒカイチ研究

—2018年のプレスリリース、主な研究成果より—

2019年

2月19日(火)

~4月14日(日)

開催場所：地質標本館 1階ホール
開館時間：9時30分～16時30分
休館日：毎週月曜日(休日の場合は翌平日)

入場
無料

産総研では、研究成果の中で特筆すべきものについて、プレスリリースや主な研究成果としてウェブ発信を行っています。今回の展示では、2018年にGSJから発信した特筆すべき研究成果18件をまとめて紹介いたします。



国立研究開発法人 産業技術総合研究所
地質調査総合センター



GEOLOGICAL MUSEUM

地質標本館



〒305-8567 茨城県つくば市東 1-1-1 第七事業所
TEL: 029-861-3750, 3754 <https://www.gsj.jp/Muse/>

GSC20190125

特別展で展示している研究成果一覧

※下記サイトから詳細資料を閲覧いただけます。

http://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html



★ プレスリリースを行ったもの

発表・掲載日

- | | |
|---|-------|
| 海洋環境の情報が正しく記録された化石サンゴを見分ける手法を開発
—過去の海洋環境の解明を加速— | 2/21 |
| ★ 千葉県北部地域の地下の地質構造を 3 次元で可視化
—地震防災や地質汚染対策に有用な 3 次元地質地盤図— | 3/29 |
| ★ サンゴの骨格成長に寄与する共生藻の役割を解明
—広大なサンゴ礁が形成されるメカニズムの解明へ— | 6/7 |
| ★ 多様な微生物が協働で工業廃水中の有害物質 1,4- ジオキサンを分解
—未知微生物の役割を新たな高感度同位体追跡法で解明— | 6/15 |
| ★ 人工知能を用いた火山灰粒子の形状判別
—噴火状況の迅速な理解を目指して— | 6/25 |
| 伊豆諸島八丈島火山の陸域と海域の噴火活動の詳細な情報を提供
—八丈島火山地質図を刊行— | 6/28 |
| ★ グレートバリアリーフと氷床変動
—世界遺産での掘削試料が明らかにした急激な氷床変化— | 7/26 |
| ★ 微小な化石を新たな手がかりに北海道東部の地質を解明
—5 万分の 1 地質図幅「網走」を刊行— | 8/10 |
| ★ 活火山を含む吾妻山地域の成り立ちを解明して地質図に
—福島 - 山形県境部の 5 万分の 1 地質図幅を刊行— | 9/7 |
| ★ 東・東南アジア地域の各種の地質情報を共有する総合システムを公開
—CCOP 地質情報総合共有プロジェクト— | 9/18 |
| ★ 日本を分断する糸魚川 - 静岡構造線最北部の謎が明らかに
—新潟県南西部、糸魚川地域の 5 万分の 1 地質図幅を刊行— | 9/19 |
| ★ 湖底堆積物から探る富士山の噴火史
—本栖湖に残されていた未知の噴火の発見— | 10/10 |
| 石垣島、宮古島などを襲った 1771 年八重山巨大津波の発生原因を解明
—詳細な海底地形の解析により大規模海底地すべりを発見— | 10/18 |
| ★ 南部フォッサマグナ (伊豆衝突帯) の歴史を凝縮した身延地域の地質図を刊行
—糸魚川 - 静岡構造線をまたぐ高精度な 5 万分の 1 地質図幅— | 10/29 |
| 四国に残された日本列島 5 億年の歴史
—20 万分の 1 地質図幅「高知」(第 2 版) を刊行— | 11/1 |
| ★ 西之島の噴火が大陸生成を再現していたことを証明
—西之島直下のマントルにおいて安山岩質マグマが直接生成— | 11/12 |
| ★ AI (人工知能) を活用した微化石の正確な鑑定・分取技術を確立
—高速自動化した革新的な地層解析に道筋— | 12/3 |
| ★ 沖縄島の成り立ちには南北で大きな違いがあることを発見
—沖縄島周辺海域の 20 万分の 1 海洋地質図幅を整備— | 12/6 |